

HANAMIZUKI

はなみずき

vol.32

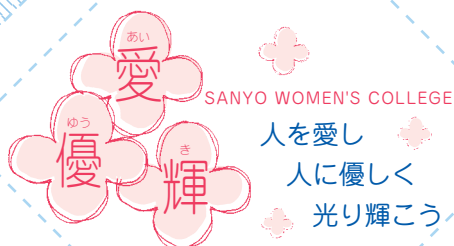
2011年 春季号

山陽女子短期大学

〒738-8504 広島県廿日市市佐方本町1-1
TEL(0829)32-0909 FAX(0829)32-0981

<http://www.sanyo.ac.jp>

印刷 株式会社ニシキプリント



CONTENTS

- P2. 学長・学科長あいさつ
- P3. 「自己の探求」報告
- P4. 学外実習・平成 23 年度 学年暦
- P5. 社会人入学生
成績優秀者表彰・Congratulations!
- P6. 私の就職活動
- P7. 臨床検査学科 国試情報
OPEN CAMPUS 2011
2012 年度 入試日程
- P8. カウンセリングルールより
貸借対照表(山陽女学園) etc……

白雪姫



一步を踏み出そう！



学長

飯山 郁子

若さと活気にあふれる新入生の皆さんをお迎えし、気持ちも新たに平成23年度がスタートしました。

「健康・福祉・医療」をキーワードとする教養教育・専門教育を学び、自立した女性として人々の役に立ち、社会に貢献したいという目標を持って集まった皆さん、本学にはその目標達成をサポートする施設・設備、そして、共に考え・汗を流すことのできる経験豊かな教職員が揃っています。

皆さんはさまざまな可能性を秘めています。本学での多くの出会いを「チャンス」として捉えてください。自分でもまだ気付いていない潜在能力を目覚めさせ、発揮するには、「チャレンジ」が必要です。今こそが、その時です。一秒ごとが新しいスタートであり、生まれ替わり「チェンジ」なのだという意識を持って、思い切って、自らの一步を踏み出してください。積極的に、前向きに、行動してください。そして、実行力に富んだ、知性豊かで思いやりあふれる女性として、皆さんが成長してくださることを心から願っています。



学科長あいさつ

人間生活学科
学科長

水野 敦子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから皆さんと一緒に過ごせることを楽しみにしています。人間生活学科は、「自立した人間となるための知識・技能の修得」という教育目標を掲げています。そのため、皆さんにはできるだけ多くの資格を取得するよう指導しています。1つでも多くの資格を取得することが、皆さんが卒業後希望する進路に進む道につながっていきます。また、プレゼンテーション能力の養成にも力を入れ、特論発表会など、自分で調査研究したことを皆の前で発表する機会を設けています。授業の他に、大学祭やスポーツ大会、サークル活動などいろいろなキャンパスライフもあります。様々な活動のなかで、多くの人と交流することによって、人格形成をしながら、人意思の疎通ができるコミュニケーション能力を身につけてください。皆さんの資格をとり、いろいろな経験を通して自分自身を磨けば、短大生活の中で多くのことが学べます。

東日本大震災の被災者の方たちは大きな被害にあいながら勇敢に前に進んでおられます。皆さんも、生かされて生きていることに感謝しながらどんなことがあっても諦めず、自分の夢に向かって前向きに歩んでいてもらいたいと思います。皆さんが充実した学生生活を送られるよう、全力で支えていききたいと思っています。

食物栄養学科
学科長

重田 耕司

不安の中にも希望に満ちた初々しい新入生、落ち着いて新たな年に踏み出した二年生の姿は、毎春我々にも元氣と希望を与えられます。保護者の皆様、お変わりございませんでしょうか。この場を借りて食物栄養学科の近況を報告いたします。食物栄養学科のキーワードは「食品」ですが、最近は加工されたスーパーの食品は知っていても本当の食品の姿は知らない若者が増えています。そこで長らく空席になっていた食品学分野に、専任の先生をお招きしました。また学園の東斜面の下に「エコファーム山陽」という実習農場を用意し、大麦、小麦、ゴマ、落花生、コンニャク等、本物に接したことが無い作物を栽培してみたいと思っています。電車から見えますので興味のある方は覗いてみてください。

地域とのコラボ活動は以前にもまして活発です。教室を飛び出し、見て、触つての体験学習による実践的な能力の養成に努めています。さらに座学の面でも実力試験、資格試験の力もついてきて、昨年の栄養士

実力試験では短期大学の平均点を上回り、大学の平均点に近い実績も残しています。学生諸君に社会の評価に耐えられる真の実力をつけてもらいたいと願っています。

臨床検査学科
学科長

白石 幸雄

平成23年度より臨床検査学科長に就任しました白石です。よろしく願っています。

平成22年度生の国家試験合格率は90・0%（全国平均67・0%）となり、残念ながら100%の目標は達成できませんでした。目標達成に向け教育体制を再構築し、さらなる努力をいたします。

就職については全国から求人をいただき、卒業生全員が今、各地の職場で希望と不安のなか頑張っていると思います。

さて、今年度も3年生が4月から臨地実習を約半年間、2・4名にわかれ18病院で実習を始めています。今まで本学で得た知識、技術の確認と実践を行うことにより、より深く臨床検査学や臨床検査技師としての自覚を養う場であり、実習場所によっては始発の電車に乗らないといけないなど、数々の試練を乗り越え、実習が終了する頃には、臨床検査技師になるという自覚がはつきりと見てとれるように成長して帰ってきます。左肩に学章ワッペンを付けていますので、見かけましたら、是非、励ましの声をかけていただきますようお願いいたします。

医療の進歩に伴い、臨床検査技師の業務拡大や重要性はますます高まっています。私共、臨床検査学科教員は、信頼され、向上心のある優秀な臨床検査技師の養成に取り組んでまいりますので、皆様のご協力、ご指導をよろしく願っています。



自己の探求

満足度95%、「自己の探求」 成功裏に終了



食物栄養学科
鈴木 理

去る4月6～7日、本学内において新入生を対象としたオリエンテーション「自己の探求」プログラムが実施された。本プログラムは、様々なグループワークを通して問題解決を行い、グループメンバーの親密度を深めるほか「自己・他者理解」「主体性」「自己肯定感」「傾聴力」などを高めることをねらいとしたプログラムになっている。本学では、初めて導入実施するものであり、本紙面ではその模様の一部をレポートしてみたい。

「緊張に包まれる初日」

1日目朝、実施教室には40名を越える学生が居るというのに、筆者が教室に入ると、鉛筆1本落としても注目を浴びるくらいシーンと静まりかえっている。交友関係を築く前での実施のためか、新入生らの緊張感がヒシヒシと伝わってくる。しかし、緊張感のピークはこの時を境に急降下する。学科やコースの枠を越えてランダムに振り分けられた40余名の新入生らは、自らの意思で1グループ6～7名の6グループに分かれ、自己紹介から始まる一連のプログラムに突入することになる。自己・他者紹介を旨としたインタビューが始まる頃には、教室内

は、学生らの熱気と笑い声と圧倒的なパワーに包まれ、傍観している筆者は思わず教室外へ逃げ出したくなるほどであった。

「グループワーク」

グループの個人およびメンバーには2日間を通じて様々な課題が与えられ、時には個人で考え、時にはグループで話し、結論・解決策を導き出す作業が繰り返された。喧々諤々……まさに会場は白熱教室化していた。「物事を考える視野が広がった」「あらためて、人と話をする事の大切さを感じた」「これまでマイナス思考だったけど、勇気を持って行動すれば、何でもプラスの方向へ向かうんだと思った。」とは受講者の声。受講者らは個人と他者の価値観の相違、協働作業や協力する事の必要性、集団の中での役割認識など……身をもって気付かされたようであった。

「涙(?)の最終日」

プログラムの最後には、2日間を通して意見を分かち合ったグループメンバー内で、お互いの特長を手紙に託しながら伝え合う「イメージ交換」が行われた。「笑顔がとても素敵です」「最初に話掛けてくれた優しさが印象的です」「卒業するまでずっと仲良くしてね。」などなど……直接声に出して思いを伝えるこの交換会、中には感極まり涙を流す者もチラホラ見られ、2日間の充実度が垣間見られた。

本プログラムの前後に受講者アンケートを実施し、5段階で満足度を尋ねたところ、95・5%のものが満足したと回答し(図)、受講者らにはすこぶる評価が高いものとなった。

今後は、学内において全教職員が本プログラムの成果を検証し、新入生のフォローをいかにしていくべきかを考え、さらには次年度へ向けた準備をいかにするか検討する必要があるであろう。

自己の探求



食物栄養学科
栄養調理コース1年
二川 愛

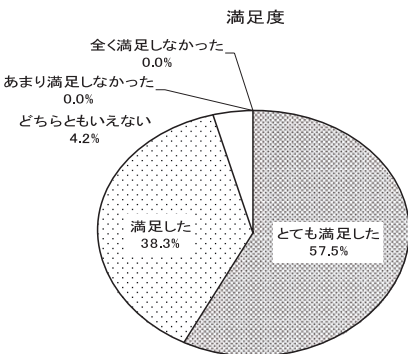
私は、この2日間で行った『自己の探求』で仲の良い友達を作ることができました。

セミナーの始めに自分自身のプロフィールの図を作成し、それをもとにグループを作りしました。自分と数値が違う人ばかりだったので少し不安でしたが、とても良い人達ばかりだったので、楽しくグループ活動することができました。

一番印象に残っているのは「総当たりインタビュー」というグループの人とテーマを決め、1対1で話し合いをしました。私とても話が合う友達がいって、楽しかったです。私は、あまり相手の目を見て話すことができないのですが、今回は相手の目を見て話すことができました。

このセミナーで、私は、人とのコミュニケーションや協力することの大切さを感じました。そして、自分の意見を伝えることの難しさなどを知ることができました。

これからの学生生活では、多くの友達を作り、多くを学び、多くの料理を作れるようになりたいです。勉強以外でもサークル活動や学校行事にも積極的に参加し、充実したものにしたいです。



学外実習

「介護実習を終えて」

人間生活学科
人間関係コース2年

木谷 文香

春季休業中に老人福祉施設「べにまんさくの里」と訪問介護事業所「コアラ」で介護実習をさせていただきました。

老人福祉施設では、ベッドメイキングや食事介助の実習、特別入浴の見学、利用者の方とのコミュニケーションなど、そしてデイケアではレクリエーションの体験をさせていただきました。職員の方が丁寧に分かりやすく、時には笑いながら教えてくださり大変理解しやすかったです。

訪問介護事業所では、ショッピングモールでの車椅子を押す練習や体験をさせて頂いた時、車椅子に乗っている人は少しの段差でも振動を感じることが分かりました。また本屋に行った時には高い位置の本に手が届かないなど色々不便を感じました。車椅子を押す時は、相手の立場になって考え思いやりを持つことが大切だと思いました。

今回の実習では、実際の現場で利用者の方や職員の方たちにかかわることが出来て、学校の授業では知ることの出来ない経験やお話を聞くことが出来ました。実習するにあたり、子供達から慕われたり、利用者様から感謝の言葉を頂いた時は大変に嬉しく、実習させていただいたことに感謝しました。今後この実習で学んだことを将来に活かしたいと思います。



海外食生活事情(台湾)

(2011年2月14日～17日)

食物栄養学科
栄養調理コース2年

高山 優

私は初めての海外旅行だったので、行く前は『本場(台湾)の料理が食べられる!』ととても楽しみにしていました。

実際に台湾のお店で小籠包を作ることにはなかなかできない事だと思わず、とても貴重な経験ができて本当に良かったです。初めての小籠包作りは、上手に包まないと中のスープがこぼれてしまい、とても難しかったです。でも、お店の人が丁寧に教えてくださり、少しいびつな形でしたが何とかスープもこぼれることもなく、美味しい小籠包を作ることができました。最後には小籠包作りの終業書をいただきました。

研修では、ビーフン工場の見学やビーフン作り、日本では見たことがない食材が所狭しと並んでいた市場見学、台湾の観光、本場の台湾料理もたくさん種類の種類を食べることができ、学校の授業だけでは学べないようなことも実際に本場で料理を食べながら勉強をさせていただきました。そしてとても良い経験ができました。

3泊4日の研修は、クラスの仲間と旅行ができ、とても楽しく過ごすことができました。



血液センターの見学を終えて

臨床検査学科
臨床検査コース3年

野崎 千加

2月15日、血液センターを見学させて頂いて、色々な所に工夫や注意をしながら仕事されていると感じました。採血情報をパソコンで管理し、製剤が足りない時に補い合える様なシステムになっているので、期限切れの廃棄を激減させているそうです。多くの方々の善意の血液が無駄になることはとても残念なので、本当に良い事だと思いました。製剤の部門では、授業で習っていた事が実際に行われていて、初めてスワリングを見せて頂いた事もとても印象的でした。また、手作業が多くてもミスをしないようにバーコード確認をしていて、工夫されていました。

今回の血液センターの見学を通して、初めて、献血した後、血液がどの様なルートで製剤になっているのかという事を実感し、感動することができました。そして、働いている先輩方がとても格好良く、私もあんな風に働きたいと思いました。お忙しい中、多くのご指導有り難うございました。



平成23年度 学年暦

4月4日	春季休業終了
5日	入学式
6～8日	オリエンテーション (自己の探求)・健康診断
15日	前期授業料納入期限
21・22日	新入生オリゼミ
8月1～3日	前期定期試験(合同科目)
8月11日	(臨床検査学科専門科目)
12日	夏季休業開始
30日	成績発表・追再試手続き
31日	追再試手続き
9月25日	夏季休業終了
26日	後期授業開始
10月15日	後期授業料納入期限
15・16日	陽月祭
18日	代休
12月24日	冬季休業開始
平成24年	
1月7日	冬季休業終了
10日	授業開始
2月8～10日	後期定期試験(合同科目)
1～10日	(臨床検査学科専門科目)
10日	特別研究提出期限
21日	成績発表・追再試手続き
22日	追再試手続き
28日	成績査定会議(2年生)
3月7日	成績査定会議(1・2年生)
14日	卒業式予行
15日	卒業式
16日	春季休業開始

社会人入学生に聞く



食物栄養学科
栄養管理コース2年
有原幸恵

中学生の時、食品成分の体内での働きに興味を持ったことをきっかけに、四年制大学に進学しました。ここでは科学的な視点から生命について幅広く学び、その過程で病気を予防することの重要性を感じました。そのため、直接健康について予防の観点からアプローチできる管理栄養士になりたいと思い、大学卒業後に本学に入学することを決めました。

入学後は両親や先生方、友人に支えられた温かい環境の中で、勉強や実習等を通じてヒトの健康について学んでいます。その他にも地域の食育イベントに参加したり、公演に足を運んだり、サークルで料理作りをするなどして様々な角度から健康・食について考えるようにしています。さらにオーストラリアの研修に参加し異文化に触れたり日本を知ったりと、今だからこそこさる経験を求めている日々過ごしています。

これからの自分の理想像と照らし合わせながら、今自分に足りないものを見つめ、その課題克服に前向きに取り組みなから残りの1年弱を充実させたいと思っています。

人間生活学科

◆医療秘書実務士（日本医療福祉実務教育協会表彰）



人間生活学科 医療事務コース
前田 沙羅

◆診療情報管理実務士（日本医療福祉実務教育協会表彰）



人間生活学科 医療事務コース
目附 里菜

◆介護保険実務士（日本医療福祉実務教育協会表彰）



人間生活学科 医療事務コース
塚田 智佳

◆ビジネス実務士（日本医療福祉実務教育協会表彰）



人間生活学科 医療事務コース
中原 美里

◆メディカルクラーク（日本医療教育財団表彰）



人間生活学科 医療事務コース
井上真由美

◆ピアヘルパー（NPO日本カウンセラー協会会長賞）



人間生活学科 医療事務コース
川口 明穂



人間生活学科 人間関係コース
福住 里沙

成績優秀者表彰

食物栄養学科

◆全国栄養士養成施設協会表彰



食物栄養学科 栄養管理コース
中村 浩美

◆社団法人全国調理師養成施設協会会長賞



食物栄養学科 栄養調理コース
平田 善恵

◆社団法人全国調理師養成施設協会技能奨励賞



食物栄養学科 栄養調理コース
小田原 瞳

◆日本フードコーディネーター協会会長賞



食物栄養学科 栄養調理コース
小田原 瞳

◆日本フードコーディネーター協会会長賞



食物栄養学科 栄養調理コース
柴田 帆乃美

◆日本フードコーディネーター協会会長賞



食物栄養学科 栄養調理コース
平田 善恵

◆フードスペシャリスト協会賞



食物栄養学科 フードビジネスコース
清水 菜央

Congratulations!

(2010年10月～2011年3月)

資格取得者数 (人)

資格	人数
栄養士免許	41
調理師免許	14
臨床検査技師	27
情報処理工師	7
医療秘書実務士	39
介護保険実務士	12
訪問介護員2級	11
ウェブデザイン実務士	8
ビジネス実務士	41
フードコーディネーター3級	15
フードスペシャリスト	16
ウエルネスデザインナー	2
新調理システム管理者	52
食育インストラクター	10

合格率
90%
(全国平均
67%)

検定試験合格者数 (人)

検定試験	1級	準1級	2級	準2級	3級	合計
第83回情報処理技能検定（表計算）			10		82	92
第84回情報処理技能検定（表計算）	1		21		7	29
第84回日本語ワープロ検定			4	6	1	11
第85回日本語ワープロ検定	1	1	2	8	1	13
第86回日本語ワープロ検定	1		9	7	2	19
平成22年度第2回日本漢字能力検定			1	2	1	4
第40回ビジネス実務マナー技能検定					30	30
第35回文書デザイン検定	1		3		9	13
第36回文書デザイン検定			5			5
第24回家庭料理技能検定					1	1
メディカルオペレータ				40		
ケアクラーク				15		
ピアヘルパー				3		

就職指導部

平成23年度の
就職活動に向けて就職指導部長
西本 満策

平成24年春卒業に向けての就職活動は、これからヤマ場を迎えます。長引く不況のもと、学生を取り巻く就職状況はいちだんと厳しさを増しています。平成23年4月施行の大学設置基準の改正によれば、「学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培うことができるように」とあります。学生時代に、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくための必要な社会人基礎力として「一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組み力（アクション）」と「疑問を持ち、考え抜く力（シンキング）」と「多様な人々とともに、目標に向けて協力する力（チームワーク）」の3つの就業能力を身につけていただきたいと思います。企業は、人生を自分の力で切り開くことのできる能力の高い新卒者を求めています。就職指導部では、きめ細かな指導を通して全力で学生の就職活動をサポートしていきますので就職指導室を活用してください。

私の就職活動

人間生活学科
医療事務コース卒
森野 静香

私は4月からJ A尾道総合病院の医療事務員として働いています。私が就職活動を始めたのは、去年の11月頃でした。

1年生の頃から先生や先輩のアドバイスで、就職活動ははじめた方が良く聞いていましたが、私の場合取りかかるのが遅かったので、早く動くことが大切だと実感しました。

私の活動内容は、時間があるときには就職指導部へ行き、求人票を見ていました。希望する職種の募集があれば、電話をかけるなど、履歴書もたくさん書きました。就職試験の面接では緊張してしまい、自分の意志を全て伝えることが出来ないもので、練習をして慣れることが大切だと思います。

そして、1社だけではなく複数の企業を積極的に受けることで、面接にも自信が付き、内定へ繋がるのではないかと思います。

私は大学祭実行委員会に所属していたので、面接の際には大学祭を企画・運営していく中で、取り組んできたことや学んだことをしっかりとアピールすることが出来ました。何か一つでも学生時代に経験したことがあれば、強味としてアピールすることが出来ると思います。

これから働く上で、覚えることがたくさんあると思いますが、山陽女子短期大学で学んだことが活かせるよう頑張っていきたいと思っています。

食物栄養学科
フードビジネスコース卒
清水 菜央

私は、愛媛県にある株式会社セトウチデリカに就職が決まりました。職種は商品開発です。

私が本格的に就職活動を始めたのは夏休み明けでした。Uターン就職を希望していた私は、地元の人を探していましたが、大学に来る求人は広島県内のものがほとんどで、求人情報を探すことに苦戦する日々でした。就職指導部の先生とも相談しながら、また、試験前には面接の練習やわからないことに対するアドバイスをいただくなど指導を受け、学んできたことが活かせる希望の職に就くことができました。

何より私は、大学生活において力を入れていたことがサークル活動です。地元廿日市のスーパーとコラボレーションし、お弁当開発に取り組んできました。一つの商品を作りあげるまでには、企画・原価計算・嗜好調査などあらゆる工程があり、それに伴い関わる方もたくさんいます。多くの方と意見交換することで学ぶことがたくさんありました。また、毎月新商品を販売すること、考案する力も身に付けることができたと思います。サークル活動を通して、商品開発の実践を学べたことは、これから社会で働く私にとって、必要な経験でした。

これからはこの経験を十分に活かし、新たに多くのことを勉強しながら一生懸命働いていきたいと思います。

臨床検査学科
臨床検査コース卒
池田美奈子

私は島根県職員の臨床検査技師として浜田保健所に勤務しています。主な仕事内容は川や海の水質検査です。私は地域に密着した仕事をしながら、多くの人と触れ合いたかったので、地方公務員を志望しました。採用試験の一次では、専門科目試験を中心に勉強しました。二次は作文と面接でしたが、どちらの試験も、自分が何を伝えたいかをしっかりとすることが大切だと感じました。今必要とされているのは、コミュニケーション能力です。これは、日頃からなるべく多くの人と接するよう心がけることが大切だと思います。国家試験合格が前提の採用でしたので、国家試験の勉強を必死でした。

公務員試験を目指す人は、公務員としての責任ある行動を厳しく求められていることを自覚して、面接に臨んで下さい。三年生の一年間は、苦しいことがたくさんありましたが、私の人生にとって貴重な一年間になりました。自分を信じて諦めずに努力してください。ワンチャンスを生かす気持ちでがんばってください。

臨床検査学科 国家試験結果情報

臨床検査学科
卒業生担任
林田 静枝

入学時から臨床検査技師国家試験合格を目標に努力してきました。近年の高度医療を支える高い知識と技術が要求され、今回の国家試験の合格率も全国平均67%でした。その中で本学は90%と高い合格率を達成することができました。学生はこの勉強法で良いのだろうか等、多くの悩みと戦い続けました。この汗と涙を糧に、人の気持ちのわかる、信頼される臨床検査技師としてスタートラインに立つことができました。学生達を支えていただいた保護者の皆様に感謝致します。

合格者の声



中尾 亜美

勉強が苦手でなかなか頭に入らず、模試の結果も思うように良くなかったのですが、とても不安でした。友達・先生・家族に支えられ辛い勉強も投げ出さずに頑張れました。



梨木 香里

国家試験合格は友達、先生方の助けがあつての事だと思っています。勉強になかなか打ち込まない私にはつばをかけてくれた先生、一緒に勉強してくれた友達、ありがとうございます！



松岡 奈々

国家試験の勉強方法が掴めずスタートが遅れ最後まで不安でしたが共に励まし合える友達や家族、先生が合格に導いてくれました。



柳本 有貴子

勉強が嫌いな私が、最後までやり遂げる事が出来たのは、一緒に励まし合って頑張った友人や、支えてくれた先生方のおかげだと思います。自分や人を信じる事の大切さも学べて良かったと思います。



2月12日(土)に「オープンキャンパス」と食物栄養学科の「卒業制作展および作品展」が同時開催されました。

オープンキャンパスでは各学科に別れて、特徴や楽しさを体験してもらいました。

作品展では、治療食(栄養管理コース2年生)、個人作品・製菓(栄養調理・フードビジネスコース2年生)、グループ作品(栄養調理コース1年生)の4つの部門から色とりどりの作品が並びました。

当日は来場者の皆様に各部門へ投票をしていただき、最後に表彰式も行われました。また、オープンキャンパスに参加した高校生の中には、在学生の作品を見て「こんな作品が作れるようになりたい！」という嬉しい声を聞くこともできました。



OPEN CAMPUS 2011

	人間生活学科	食物栄養学科	臨床検査学科
6月19日(日)	学科別体験 ・チラシを作ろう ・記憶の心理学 ・「びょういん」を知ろう ～医事コンピュターで会計しよう～	学科別体験 ・新調理システム入門！ 新調理ってなに？(調理体験) ・油と健康	学科別体験 ・血液型のウソ？ ホント？
7月17日(日)	体験コーナー ・オフィス情報体験 PART I ・心理テスト体験 ・「びょういん」を知ろう ～診療の流れを体験しよう～	体験コーナー ・ミニ講義① ・調理体験(西洋料理) ・あなたの食事バランスチェック ・コラボ弁当ができるまで☆	体験コーナー ・手洗いで食中毒を防ごう ・カルピスの濃度を測ろう ・本物の臨床検査技師に会える！Part1
8月21日(日)	体験コーナー ・オフィス情報体験 PART II ・心理テスト体験 ・「びょういん」を知ろう ～診療の流れを体験しよう～	体験コーナー ・ミニ講義② ・調理体験(中国料理) ・幼稚園給食をみてみよう！ ・実験室をのぞいてみよう☆	体験コーナー ・目の中を覗いてみよう ・血圧を測ってみよう ・本物の臨床検査技師に会える！Part2
9月18日(日)	学科別体験 ・写真でデジタルアート ・「自分らしさ」の心理学 ・「びょういん」を知ろう ～電子カルテを体験しよう～	学科別体験 ・ミニ講義③ ・調理体験(日本料理) ・あなたの食事バランスチェック	学科別体験 ・身近な菌を培養してみよう
10月2日(日)	入試対策(模擬面接・入試問題解説)		

山陽女子短期大学 2012年度入試

人間生活学科・食物栄養学科

臨床検査学科

入試区分	出願期間	試験日	合格発表日	入学金納入期間
A O 入試	2011年9月20日(火) ～2011年9月30日(金)		2011年10月7日(金)	2011年10月21日(金)
推薦入試	公募前期 指定校 2011年10月13日(木) ～2011年10月28日(金) 必着	本学 2011年11月5日(土) 9:30～	2011年11月11日(金)	2011年11月28日(月)
		地方 2011年11月5日(土) 13:00～		
	公募後期 2011年11月24日(木) ～2011年12月9日(金) 必着	2011年12月17日(土) 9:30～	2011年12月24日(土)	2012年1月10日(火)
	自己 2011年11月4日(金)～ 2012年3月12日(月) (希望試験日の 5日前までに必着)	2011年11月19日(土) 2011年12月17日(土) 2012年1月21日(土) 2012年2月18日(土) 2012年3月17日(土)	2011年11月25日(金) 2011年12月24日(土) 2012年1月27日(金) 2012年2月24日(金) 2012年3月23日(金)	2011年12月2日(金) 2012年1月10日(火) 2012年2月3日(金) 2012年3月2日(金) 2012年3月30日(金)

入試区分	出願期間	試験日	合格発表日	入学金納入期間
A O 入試	2011年9月20日(火) ～2011年9月30日(金)		2011年10月7日(金)	2011年10月21日(金)
推薦入試	公募前期 指定校 2011年10月13日(木) ～2011年10月28日(金) 必着	本学 2011年11月5日(土) 9:30～	2011年11月11日(金)	2011年11月28日(月)
		地方 2011年11月5日(土) 9:30～		
	公募後期 2011年11月24日(木) ～2011年12月9日(金) 必着	2011年12月17日(土) 9:30～	2011年12月24日(土)	2012年1月10日(火)



カウンセリング・ルームより



室 長
高田 晃治

山陽女子短期大学に私が着任してから一年が過ぎました。昨年度一年間、教職員のみなさんからはもちろんですが、学生のみなさんから多くを教えてもらい、支えてもらったおかげで、随分案に動けるようになったことを感じています。

教員として、あるいはカウンセラーとして働いて思うのは、「先生」と呼ばれる存在が一方的に指導したり支援したりするということは決してないということです。学生と教員、クライアントとカウンセラーとが、お互いから教わることで、一緒に発見できることがいっぱいあって、こうした体験がお互いの成長につながっているように思います。

昨年度一年間、学生、教職員、保護者の方も含めてのべ167名の方がカウンセリング・ルームを利用されました。今年度もカウンセリング・ルームを、水曜日にいらっしゃる臨床心理士の熊谷先生と担当致します。どうぞお気軽に部屋をノックしてみてください。

貸借対照表 (山陽女学園)

(H23. 3. 31現在) (単位: 千円)

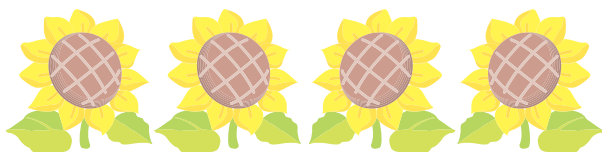
資産の部		負債・基本金・消費収支差額の部	
科 目	22年度末	科 目	22年度末
固定資産	4,147,112	固定負債	504,943
有形固定資産	3,607,219	流動負債	296,966
その他の固定資産	539,893	負債の部合計	801,909
流動資産	846,484	基本金	
		基本金の部合計	6,670,746
		翌年度繰越消費支出超過額	2,479,059
		消費収支差額の部合計	△2,479,059
資産の部 合計	4,993,596	負債・基本金・消費収支差額の部 合計	4,993,596

平成22年度消費収支計算書 (山陽女学園)

(H22. 4. 1～H23. 3. 31) (単位: 千円)

収入の部		支出の部	
科 目	決算額	科 目	決算額
学生生徒等納付金	892,970	人件費	769,393
手数料	20,859	教育研究経費	334,347
寄付金	2,754	管理経費	151,677
補助金	381,597	借入金等利息	9,942
資産運用収入	3,873	資産処分差額	866
事業収入	49,266	徴収不能額	565
雑収入	14,350	消費支出の部合計	1,266,790
帰属収入 合計	1,365,669	当年度 消費支出超過額	39,424
基本金組入額 合計	△138,303	前年度繰越 消費支出超過額	2,447,482
消費収入の部合計	1,227,366	基本金取崩額	7,847
		翌年度繰越 消費支出超過額	2,479,059

*財務関係書類については、学校法人山陽女学園情報公開取扱規定に基づき閲覧することができます。



役職教職員紹介

臨床検査学科長 白石 幸雄	食物栄養学科長 重田 耕司	人間生活学科長 水野 敦子	副学長 丸川 浩	学 長 飯山 郁子
就職指導部長 西本 満策	事務局長 迫 豊人	入試広報部長 谷口 薫	学生部長 鈴木 理	教務部長 谷口 菊代

人 事

退 職

安松 弘光	臨床検査学科教授 (山陽女子短期大学名誉教授)	平成23年 3月31日
田村奈三恵	就職指導部事務職員	平成23年 3月31日

採 用

石永 正隆	食物栄養学科教授	平成23年 4月 1日
和田 元子	就職指導部事務職員	〃

第31回 山陽女子短期大学公開講座(2011年度前期)

テーマ 「あなたの食事は大丈夫？」

～自分の食生活を見直してみよう～

- 開講時間：13：30～15：00
- 定 員：80名
- 会 場：山陽女子短期大学内
- 受 講 料：1,000円（5回分）調理実習受講者は別に500円

●講座内容及び講師

回	月 日	講 座 内 容	講 師 名
第1回	5月28日 (土)	何をどのくらい？ ～SATシステムを利用して～	寺岡 千恵子 本学 准教授
第2回	6月4日 (土)	高血圧予防について ～血圧を下げる食事～	中東 教江 本学 准教授
第3回	6月11日 (土)	調理実習 ～血圧を下げるレシピ～	中東 教江 本学 准教授
第4回	6月18日 (土)	摂取と消費バランスを考える ～運動によるエネルギー消費量～	鈴木 理 本学 准教授
第5回	6月25日 (土)	脂質と健康 ～脂質の役割～	石永 正隆 本学 教授